

「財産狙い」ではない

【解説】他人（特に家族）から「遺言書を作ってほしい」と言われると、「私の財産を狙っているのか？」と、勝手な思い込みを始める人もいます。確かに、他の家族より多くもらいたくて、遺言書を作るよう促す人がいることは否定しません。でも、遺言書を作る価値は「財産の分配機能」だけではありません。実際に相続が起きたときに、遺言書があれば、遺産をどう分けるかという話し合いを、家族同士でする必要がありません。この話し合いこそがもめる元で、残された家族に大きな負担となることがあります。「**家族同士が遺産分けの話し合いをせずに済む**」ことも、遺言書の大きな価値なのです。



相続専門行政書士
山下 託史



走って爽快 応援に感動

相続漫才師のひゅうま（写真上の右側）です。熊本城マラソン完走しました！初めての42.195キロ。親友の哲生君（写真上の左側）と一緒に参加し、励まし合いながら何とかゴールできました。心に残っているのは、沿道の応援。バナナやトマト、タイピーエンなど豊富な食料でエネルギーをチャージ。また、あかりテラスのスタッフも駆けつけてくれました。

特に、事務所内ではいつも寡黙な先輩（♂）が、場所を移動しながら、4回も応援してくれたのは感激しました。最後の残り5キロあたりで、足が痛くて気持ちが折れそうなときに、その先輩が、狭い路地裏からひょっこり現れ「なぜここに！」と大笑い。ゴールまであとひと踏ん張りの元気をもらいました。一方、「クセツヨ」の純米大吟醸さんは残念ながら途中リタイヤ。来年は一緒に完走したいです。



▲あかりテラス応援団の皆さんと

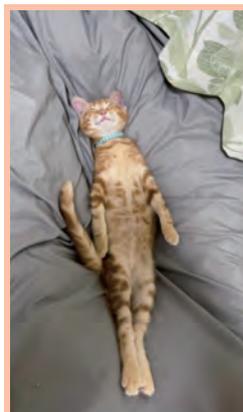
あかりテラスの「クセつよ！」

あかりテラスの「クセが強い」（クセつよ）職員たちが、自分自身のこだわりの世界を発信します。

1月号に続き純米大吟醸（♀）です。前回ご紹介した我が家の愛猫マイケルを撮った写真が、とあるコンテストで優秀賞を受賞しました。暖房がちょうどあたる私のベッドの上で、お腹丸出して、ぴーんと「気をつな」して眠っている姿が愛らしくて思わずパジャリ。

優秀賞を受賞しました！

マイケル（♂）1才



◀ 今回賞をいただいた写真



▲今も寝姿は変わらず・・・

